

知識確認問題

～VI.危険物を運搬する場合に留意すべき事項～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

危険物………消防法第1類から第6類【酸化性固体、()固体、自然発火性物質及び禁水性物質、()液体、自己反応性物質、酸化性液体】のもの
高圧ガス………高圧ガス保安法の()ガス、可燃性ガス、毒性ガスなどの高圧ガスのもの
火薬………火薬類取締法の火薬、()、火工品のもの
毒物・劇薬…毒物及び劇物取締法の毒物、劇物のもの

【問題 2】

()は、消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法、火薬類取締法及び道路法で規制される危険物を輸送する場合や高圧ガス保安法の高圧ガスを輸送する場合に、品名別の()事項等を記載した書面です。()中はこれを携行するようにしましょう。

【問題 3】

危険物の輸送は、危険物取扱の()を持った者が行う運行です。危険物輸送にあたっては危険物取扱()保有者の指示に従い、安全に対する心構えを持ち、安全確認を十分に行う必要があります。

【問題 4】

石油類、高圧ガスの積卸場では、車から離れず、常に積卸しを()しましょう。指定された位置に車両を止めて、()止めを置きます。()、火花は厳禁です。また、静電気発生防止をしましょう。

【問題 5】

万が一、事故が発生した場合には、慌てずに適切な措置を行うことが肝心です。事故発生時の応急措置としては、事故を大声で告げ、()などの安全な場所に人を移動させ、ハザードランプと()筒で事故を知らせます。また付近の()物を遠ざけます。もしも引火・発火が発生したら、地域を巻き込んだ大惨事となります。迅速・的確に()、警察に通報し、近隣住民を避難させます。

【問題 6】

タンクローリーの車両特性として、積荷である石油類などの液体は、タンク内で()やすいために、横転や()現象などが生じやすくなります。カーブや交差点で急旋回するときには、遠心力で流体の積荷が()に片寄ります。急ブレーキや急発進などの急のつく運転をすると、前又は後ろに積み荷が片寄ります。タンクローリーは()が高いことにより、横転危険性が大きい車両です。十分に注意し、慎重に走行することが大切です。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。